

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	17	佐藤 一郎	<p><b>新型コロナウイルス感染症に係る医療体制づくり及びPCR検査体制について</b></p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症は、秋から冬にかけて第2波、第3波が来ることも予想される。インフルエンザは、国内で毎年約1,000万人前後が患い、新型コロナウイルス患者との区別が難しいとされている。このことから、市内の感染症を防止するため、地域の医療機関の受入体制づくり及びPCR検査体制について伺う。</p> <p>(1) 第2波、第3波を想定し、新型コロナウイルス感染症患者受入れの病床の確保や、医療体制強化について、県に強く要望すべきではないか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染の疑いがある方の救急搬送の受入れ拒否や、保健所でのPCR検査拒否の事例が発生していると聞いている。このような事例が発生する中、市内で新型コロナウイルス感染の疑いがある方の現在の救急搬送の受入れ状況や検査状況を把握しているのか伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査を適切に実施するために市内医療機関又は2市2町医師会が連携し、受診体制を整える必要があると思うがいかがか。</p> <p>(4) 2市2町の医師会で運営するPCR検査センター設置を検討してはどうか伺う。</p>	市長
2	10	酒井 信幸	<p><b>新型コロナウイルス対策支援について</b></p> <p>1. いわぬま飲食店割増商品券の販売方法等について</p> <p>(1) 臨時議会で割増商品券の販売方法は1人2セットまで購入できるとの説明を受けたが、なぜその後販売方法が変更になったのか、経緯を伺う。</p> <p>(2) 割増商品券を販売するに当たり、5月15日(金)に岩沼市地元応援割増商品券販売事業実行委員会が開催されたが、この会で決定された議事内容が数日後に覆された。その理由を伺う。</p> <p>(3) 今回の割増商品券の販売方法について、他の案も考えたのか伺う。</p> <p>(4) 割増商品券を販売するに当たり、利用できる飲食店の募集はどのように行ったのか伺う。</p> <p>(5) 割増商品券販売終了後のクレームの内容と件数</p>	市長

(続)	10	酒井信幸	<p>について伺う。</p> <p>2. 第2弾の岩沼市独自の支援について</p> <p>(1) 第2弾の岩沼市独自の支援を考えているのか伺う。</p> <p>(2) 新たな割増商品券の発行について、考えを伺う。</p>	市長
			<p><b>避難所の追加等について</b></p> <p>1. 議員全員協議会で説明があった、災害時のホテルの利用について伺う。</p> <p>2. ホテルを避難所として追加するのか伺う。</p> <p>3. 車中泊の避難対応策について検討すべきと思うが、いかがか。</p>	市長
			<p><b>コロナ禍の熱中症と新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>1. 小中学校におけるコロナ禍の熱中症対策と、新型コロナウイルス感染症対策について伺う。</p> <p>2. 学校給食における調理員の熱中症対策と、新型コロナウイルス感染症対策について伺う。</p> <p>3. 市役所庁舎におけるコロナ禍の熱中症対策と、新型コロナウイルス感染症対策について伺う。</p> <p>4. 市内業者や家庭に向けて、コロナ禍の熱中症対策と新型コロナウイルス感染症対策についての周知を行うべきと思うがいかがか。</p>	市長 教育長
3	7	高橋光孝	<p><b>台風19号の復旧状況について</b></p> <p>1. 台風19号の復旧状況について伺う。</p> <p>(1) 市政報告にあった、台風19号に係る国の災害査定に該当する大規模な復旧工事となる農地や農業施設被害13か所、山地災害6か所の主な災害状況と現状を伺う。</p> <p>(2) 今後の対策として、志賀沢川の田中橋から小川にかけての川の底払いは行われるのか伺う。</p> <p>(3) 小川地区の山畑南、荘司など志賀沢川に面している住宅入口に側溝を整備し、グレーチングを設置して住宅敷地への水の侵入を防ぐことはできないか伺う。</p>	市長
			<p><b>生活保護について</b></p> <p>1. 生活保護の現状について伺う。</p> <p>(1) 生活保護には生活・住宅・教育・医療・介護・出産・生業・葬祭扶助があるが、現状はどのような比率で扶助されているか伺う。</p> <p>(2) 在宅の1人世帯の平均支給額を伺う。</p> <p>(3) 市内において、平成18年4月で128世帯、令和</p>	市長

(続)	7	高橋光孝	<p>2年2月で259世帯と14年間で倍増しており、多いときで年間33世帯、少ないときで6世帯減となっているが、今後の傾向をどのように推測しているのか伺う。</p> <p>2. 新型コロナウイルス禍による特例について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの影響により、急激に生活困窮になってしまった方のために、例えば3か月・6か月など期間限定や基本持ち家不可などについて、一部条件緩和はできないのか伺う。</p> <p>3. 現在の相談やチェック等の体制について伺う。</p> <p>(1) 生活保護は素晴らしい制度でもあるが、悪用されるという懸念もある。相談窓口や調査の状況はどのように行っているか伺う。</p> <p>(2) 人員体制はどのようになっているか伺う。</p>	市長
4	3	高梨明美	<p><b>新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>1. 特別定額給付金について</p> <p>(1) 特別定額給付金の最新の申請率について伺う。</p> <p>(2) 申請手続を進めるに当たっての問題点の有無について伺う。</p> <p>(3) 未申請世帯に対する対応について伺う。</p> <p>2. 妊産婦が安心して出産できる体制について</p> <p>(1) 妊産婦に対する支援の現況について伺う。</p> <p>(2) 妊婦に対して特別給付金を支給してはどうか伺う。</p> <p>(3) 保健師や助産師によるオンラインでの保健指導をしてはどうか伺う。</p> <p>3. 学校教育について</p> <p>(1) 児童・生徒の心のケアに努めるとともに、虐待などが心配される家庭に対する丁寧な対応が必要だが、どのように対応しているのか伺う。</p> <p>(2) 市内小中学校の修学旅行の予定について伺う。</p> <p>4. 中小企業支援について</p> <p>(1) 売上額が減少したものの、国からの支援を受けることができない売上減少額が50%未満の事業者を対象に、事業継続応援給付金を支給してはどうか伺う。</p> <p>(2) 雇用調整助成金の申請手続の相談窓口を設置してはどうか伺う。</p> <p>(3) 取扱業種を拡大した割増商品券を発行してはどうか伺う。</p>	市長 教育長

(続)	3	高 梨 明 美	<p><b>マイナンバーカードの普及等への取組について</b></p> <p>1. 普及等に関するスケジュールや取組状況について</p> <p>(1) マイナンバーカードの交付件数と交付率について伺う。</p> <p>(2) 今後のスケジュールと取組について伺う。</p> <p>2. 具体的な取組状況について</p> <p>(1) 市職員の取得状況と推進について伺う。</p> <p>(2) マイナンバーカードの健康保険証利用に対する準備状況について伺う。</p> <p>(3) 国のマイナポイント制度の実施に対応した消費活性化策の推進状況について伺う。</p>	市 長
5	9	布 田 恵 美	<p><b>新型コロナウイルス対策について</b></p> <p>1. 緊急事態宣言が5月25日に全ての都道府県で解除され、県内においては6月9日現在新たな発症者が出ていない状況ではあるが、引き続き感染の第2波に備えていく必要がある。</p> <p>同時に支援策についても緊急の支援、中長期的な支援、それぞれに進めていかなければならないところである。</p> <p>(1) 経済対策支援について</p> <p>① 5月24日に販売した「いわぬま飲食店割増商品券」については、地域の飲食店への緊急支援として一定の成果は出ていると思う。一方で、販売日当日の混乱は反省点が多々あり、今後の活性化策に生かしていくべきである。</p> <p>当初、5月8日の議員全員協議会では、1人2セットまでの購入と聞いていたが、実際には5セットまでの販売となり、早々の完売が生じていた。私の元にも、早朝から並んだにもかかわらず購入できなかった市民の方々から、販売終了直後から電話、メール、直接に多くの苦情相談があり対応に追われてきた。どのような経緯で5セットまでの販売となったのか。</p> <p>② 新聞報道によると、市長は6月5日の定例記者会見で、今後「全業種を対象にした第2弾の割増商品券事業を検討中で、できるだけ多くの人に利用してもらえよう考えている。」と述べられている。実施時期や内容については、具体的にどのように考えているのか。</p> <p>(2) 住宅対策支援について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の余波（以下「コロ</p>	市 長 教育長

<p>(続)</p>	<p>9</p>	<p>布田 恵美</p>	<p>ナ禍」と略す。)で失業、休業、廃業なども出ているやに聞く。特に若い世代が解雇、住まいを失い路上で厳しい生活を送る事例を見聞きする。本市として、市営住宅に家賃無料で入居させる取組を進めてはどうか。</p> <p>(3) 学習対策支援について</p> <p>GIGAスクール構想の実現について、市政報告の中では「スピード感をもって整備してまいります。」と述べられている。仙台市では、児童・生徒に今年度中に1人1台のタブレット端末が配られると報じられてもいる。</p> <p>① 本市においての事業の進捗は、どのようになっているのか。</p> <p>② 市内の小中学生在籍家庭に対して、通信環境の調査はどのように実施してきたのか。</p> <p>③ 今後、再度臨時休校期間などが生じた場合を考えると、端末整備と同時に各家庭の通信環境整備、特に設備が及ばない家庭への支援、ルーターの貸出なども視野に入れて進めていかなければならないと考えるが、いかがか。</p> <p>④ オンライン学習対応に対して、学校内での教員の研修、スキルアップは進んでいるのか。</p> <p>⑤ 誰もが初めて経験する今回のコロナ禍に対して、心のケア対策についても考えなければならない。大人の社会もストレスにさらされ、その影響は、より弱い立場にある子どもたちにも及ぶ。子どもたちは約3か月の間、休校や自粛でこれまでに無い経験を経ての学校生活再開であり、新しい生活様式に慣れながら、学習や行事の見直し、夏休み短縮など、心の疲れが生じやすくなっている。そこで、学校現場へのアウトリーチ事業として、芸術家(音楽、演劇、パフォーマー)を派遣して授業の一環として、心のケアにも力を注いではどうか。</p> <p>(4) 働く人への支援について</p> <p>国の2次補正予算の中では、介護サービス、障がい者サービス、児童養護施設職員への手当も全額国費対応となっている。同様に、保育士、児童クラブ職員等に対しても慰労金を国に求めていくべきではないか。</p> <p>(5) こども食堂への支援について</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	--------------	--	-------------------

(続)	9	布田 恵美	<p>市内で、こども食堂活動を継続的に行い、日頃から子育て支援、食育支援に当たっている4団体があると聞く。現在、コロナ禍により、従来の食事提供の形が取れず、持ち帰りの弁当や食材配布（フードパントリー）を実施している。運営については、ボランティアスタッフが協賛して下さる方々（農業生産者、食品製造者、事業所など）の提供食料品（米、乾麺、レトルト食品、野菜、冷凍食品、飲料水など）を家計に不安がある世帯に無償で提供している。回を重ねるごとに、コロナ禍で厳しさを増す家計負担軽減のため利用申込者も増えている。行政にはできない社会福祉事業でもあり、継続的な活動を行うため支援策を考えていくべきではないか。</p>	市長 教育長
			<p><b>防災士の活用について</b></p> <p>コロナ禍の中で、7月5日に実施予定だった岩沼市総合防災訓練が中止となったことは、賢明な判断だと思ふ。新たな生活様式の中で、防災対応もこれまでとは違う対策や心得が求められるところである。</p> <p>市政報告では、「避難所における感染防止対策を進めるとともに、状況に応じた避難行動の確認や非常持ち出し品の準備などについて広報などによる一層の周知を図ってまいります。」と述べられている。いづどこに起きるか分からない大雨、台風、地震災害などに備えるべく地域にいる防災士を活用して、新たな生活様式の中で小規模な防災訓練、例えば避難所設営などをシミュレーションしてみることも、より広く感染防止対策について情報共有することにつながり、地域の防災リーダーとしての研さんを積むと同時に役割を活用する場にもなるのではないかと考えるが、見解を伺う。</p>	市長
6	4	田村 宏	<p><b>千年希望の丘の維持について</b></p> <p>草刈り作業はなぜ、2,800万円で随意契約しなければならないのか。一般の業者は100万円の仕事でも競争入札となっている。</p> <p>元請けが現場にいないで写真も下請け任せにしていると聞く。そこで千年希望の丘について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理委託している一般社団法人「千年希望の丘協会」に発注している業務内容は、具体的に何か。</li> <li>2. この協会と随意契約をしているのはなぜか。</li> <li>3. 維持費があまり掛からないように「自然淘汰に任せる」という方針ではないのか。草刈りに予算を掛</li> </ol>	市長

(続)	4	田村 宏	<p>けすぎていると思われるし、また、市民は望んでいないと思うがどうか。</p> <p>4. 緊急事態宣言が出たことで苦しんでいる市民が多い今、この草刈りが本当に必要だと考えているのか。</p> <p>5. 毎年、植樹した木を育成調査しているが、この調査に市は関与しているのか。</p>	市長
			<p><b>末広・桜地下道の清掃について</b></p> <p>岩沼市内の地下歩道橋内がひどく汚れていた。市内のボランティアの方から6月5日一人で清掃作業を実施したいと相談があり、私の社員と清掃活動を行った。そこで質問します。</p> <p>1. 地下道の管理は土木課がしていると聞いたが、手すりなど一度も掃除した形跡もなく汚れが激しかった。この状況を今後、改善していくのか。</p> <p>2. 多くの市民が利用している地下道に清掃予算を出して、市民が快適に利用できるようにすべきではないか。</p>	市長
7	8	佐藤 淳一	<p><b>新型コロナウイルスへの対応とこれからの岩沼市について</b></p> <p>1. これまでの対応について</p> <p>(1) 感染者がなく死亡者もない状況での経済的な自粛など、本市にとってここまでの対応をするべきウイルスだったのか、これまでの（緊急事態宣言下含む。）本市の対応について、他の感染症などと比較してどのように分析し、考えているのか現状について伺う。</p> <p>(2) 市内の景況感と各種経済支援等について</p> <p>① 市内企業・各種法人等と市民の経済状況などについて</p> <p>ア 企業・法人などの状況について</p> <p>② 市民の状況について（割増商品券について）</p> <p>ア 事業への飲食店の参加状況について</p> <p>イ 販売内容、販売方法について</p> <p>ウ 岩沼市地元応援割増商品券販売事業実行委員会について</p> <p>エ 効果と反省点について</p> <p>2. これからの対応について</p> <p>(1) 停滞させてしまった経済を復活させるための臨時交付金という名目だが、支援の生かし方や考え方、そして方向性がずれていれば、もらえるからもらっておこうというような交付金の単なる消化</p>	市長 教育長

(続)	8	佐藤 淳一	<p>のような一時的効果しかもたらされないことになるとのではないかと考える。今後、臨時交付金の活用についてどのような考え、方向性で進めていくのか伺う。</p> <p>(2) 市内経済の状況について、どのような調査を行って、何を指してどうするために経済支援を行っていくのか伺う。</p> <p>(3) 経済支援は効果の高いものを優先的に行うべきと考える。今後検討している支援策について伺う。</p> <p>(4) 市内経済活動の正常化のため、店内飲食や会合(宴会等)についてどの段階までくれば勧めていくのか伺う。</p> <p>3. これからの岩沼市について (アフターコロナ)</p> <p>(1) コロナ禍で浮かび上がった課題として、ICTの活用、オンラインでの行政手続、ネットでの販売・購入、さらにはネット環境の整備(社会基盤化)などあるが、本市での必要性についてどう考えているのか伺う。</p> <p>(2) 臨時交付金の活用は幅広い施策に対応しているが、将来への投資も含めて、ICTの活用やオンライン環境の整備を推進する考えはないか伺う。</p> <p>(3) 国の1次補正予算に対応して行った割増商品券は、市民、事業者への経済的効果が大きかったものとする。ただし、商品券という紙ベースの事業であることから、事務的な手続、購入自体にも手間がかかることなど、改善すべき点もある。そこで、臨時交付金を活用し、今後国で行われるマイナポイント事業に市独自のプレミアムポイントの上乗せを検討してはどうか伺う。</p>	市長 教育長
8	6	菊地 忍	<p><u>ICT教育の推進及びGIGAスクール構想の進捗について</u></p> <p>昨今の情報化の進展に伴い、学校現場においてもICTを効果的に活用し、教育の質の向上を図ることがこれまで以上に求められています。</p> <p>さらに、GIGAスクール構想の実現に向けても、活用(運用)する教職員側のICT化の整備が必要不可欠となっております。</p> <p>1. 本市の教育ICT5か年整備計画の策定状況について伺う。</p>	市長 教育長

(続)	6	菊地忍	<p>2. 県内自治体の統合型校務支援システムの導入率は50%を超えたが、本市の導入計画を伺う。</p> <p>3. ICTを通じた学習機会の提供を進めるに当たり、オンライン授業又は反転授業等の持ち帰り学習を前提とした各家庭の通信環境調査の結果を伺う。</p> <p>4. 今回の長期臨時休業中に実施したICT教育に係る教職員の研修内容と成果を伺う。</p> <p>5. 校内外のネットワーク整備並びにICT機器の選考方法と導入計画について伺う。</p> <p>6. 新型コロナウイルス感染症の第2波等に備えたオンライン授業や家庭学習の方策を、今後どのように考えていくのか伺う。</p>	市長 教育長
			<p><b>市役所のICT化について</b></p> <p>今年新型コロナウイルス感染症の影響で、あらゆる企業やあらゆるイベントでオンライン化が進むなど、業務が大きく変化しています。また業務のICT化についても大きく進歩しています。岩沼市としても、これらの時代に対応していくために、今後様々な場面で変化が求められることと思います。</p> <p>1. RPAの導入調査の経過を伺う。</p> <p>2. オンライン会議や企業等とのやりとりの中で、現状の庁内ネットワーク(LGWAN)では制限があり、対応ができない状況が見受けられます。今後見直しが必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>3. 公共施設でWi-Fi整備が必要だと考えるが、見解を伺う。</p> <p>4. 職員の新型コロナウイルス感染症対策として、テレワーク等勤務形態や、業務の見直しも必要と考えるが、その対策について伺う。</p>	市長
9	12	渡辺ふさ子	<p><b>新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>1. 上下水道料金について</p> <p>(1) コロナ禍により収入減となっている世帯にとって、固定費の負担は大きい。上下水道料金の基本料金を一定期間、半額に減免してはどうか。</p> <p>(2) 市内事業者に対し、上下水道料金の基本料金を一定期間、全額減免にしてはどうか。</p> <p>2. 市民と医療従事者を守り、医療崩壊を起こさない対策について</p> <p>(1) 発熱外来を設置するよう、県や医師会と協議を進めてはどうか。</p> <p>(2) 感染が疑われる方に対する診察と、PCR検査</p>	市長 教育長

<p>(続)</p>	<p>1 2</p>	<p>渡 辺 ふさ子</p>	<p>が必要と判断された場合の検体採取を行う「(仮称)PCR検査センター」の設置を県に要望すべきではないか。</p> <p>3. 災害時の避難体制について</p> <p>(1) 小中学校の体育館などの避難所体制について</p> <p>① クラスターを発生させないための3密を防ぐ対策について伺う。</p> <p>② 設備(敷物、パーテーション、マスク、消毒剤、食料と水の備蓄など)の現時点での整備状況を伺う。</p> <p>③ 設備の整備をいつまで、どこまで進めるのか、目標を伺う。</p> <p>(2) 旅館やホテルなどの宿泊施設を災害時に確保できるよう、あらかじめ協議を進め、協定を結ぶことが必要ではないか。</p> <p>(3) 高齢者や障害者へのサポートについて</p> <p>① 要援護者が安心して避難できる避難所体制についての対策を伺う。</p> <p>② 協定している福祉避難所にスムーズに避難するための運営方法はどうなっているか伺う。</p> <p>③ 町内会や自主防災組織が要援護者を把握する手段について伺う。</p> <p>4. いわぬま飲食店割増商品券について</p> <p>(1) 販売日当日の渋滞等について、市政報告で「真摯に反省し、今後の活性化策に活かしてまいります。」と述べているが、第2弾の販売はあるのか。</p> <p>(2) 今後の活性化策について</p> <p>① 並んで購入することが困難な障害者世帯や高齢者の一人暮らし世帯、高齢者のみの世帯にも優先的な販売枠を設けることや、無料配布を検討すべきではないか。</p> <p>② 割増商品券を岩沼市以外の住民にも販売したことについて、岩沼市の税金をなぜ他市の住民のために使うのかという批判や疑問の声が寄せられている。考え方を伺う。</p> <p>③ 販売は岩沼市民に限定し、広報いわぬまに「切り取れる整理券」を印刷し、販売日に提出を求めるなどのお金をかけない工夫をすべきではないか。</p> <p>④ グリーンピアでのドライブスルーによる販売について、「急な坂道での長時間の渋滞で大変だ</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	------------	----------------	---	-------------------

(続)	1 2	渡 辺 ふさ子	<p>った。その上買えなかった」と残念な声が届いている。発売場所や方法を検討すべきではないか。</p> <p>5. 介護や福祉を守る対策について</p> <p>(1) 介護事業所・施設の感染防止策を支援し、デイサービスや訪問介護の中止・縮小などによる大幅な減収に対する損失等を補填する独自支援策を講じるべきではないか。</p> <p>(2) 介護従事者等への「慰労金」に市独自の上乗せをしてはどうか。</p> <p>(3) 障害者施設の減収分や感染防止策の経費への補填について、独自支援策を講じるべきではないか。</p> <p>6. 学校の再開について</p> <p>(1) 子どもたちの心身のケアをしっかりと行うことは、学びを進めるうえでの前提になる。子どもと教職員がつらい体験や思いを語り合い、新型コロナ危機という歴史的経験を語り考えることは、子どもたちの新たな出発点となると考えるがいかかか。</p> <p>(2) 子どもたちをゆったり受けとめながら、学びとともに、人間関係の形成、遊びや休息をバランスよく保障する柔軟な教育が必要である。そのためには、子どもを直接知っている学校現場の創意工夫を保障することが必要と考えるがいかかか。</p> <p>(3) 教科書全てを駆け足で消化するやり方ではなく、「学習内容の精選」を行い、効率的に学ぶようにすることで、子どもに力がついていくと考えるがいかかか。</p> <p>(4) 感染防止の3つの基本の1つである「身体的距離の確保」についてどう対策をとるのか。</p> <p>(5) 小学校6年生、中学校3年生は、特に少人数学級の実施や学習支援員を増やすなどの配慮、手立てが必要ではないか。</p>	市 長 教育長
1 0	5	佐 藤 剛 太	<p><b><u>小中学校における新型コロナウイルス対策について</u></b></p> <p>1. 感染予防の取組について</p> <p>(1) 除菌水生成装置の設置について</p> <p>① どのような役割の機械なのか伺う。</p> <p>② 導入時期について伺う。</p> <p>③ 設置場所と台数について伺う。</p> <p>(2) 次亜塩素酸水について</p> <p>① 独立行政法人製品評価技術基盤機構では、次</p>	市 長 教育長

<p>(続)</p>	<p>5</p>	<p>佐藤 剛太</p>	<p>亜塩素酸水の有効性については検証中であり、結論が出ていない旨を発表しているが、市内小中学校で使用するについて、見解を伺う。</p> <p>(3) 国の令和2年度第2次補正予算において、文部科学省では「学校の段階的な再開に伴う児童生徒の学びの保障」として761億円を「学習保障に必要な人的体制の強化」「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援経費」などの支援策に充てるが、活用方法について伺う。</p> <p>① 学習保障に必要な人的体制の強化等について</p> <p>ア 学習指導員の追加配置について伺う。</p> <p>イ 小中学校の最終学年（小6・中3）への支援体制について伺う。</p> <p>ウ スクールサポート・スタッフの追加配置について伺う。</p> <p>エ 教職員の働き方改革を推進する本市において、改めて教職員の役割について見解を伺う。</p> <p>オ 子育て・教育のまちづくりを推進する本市において、市独自の人的体制支援が必要ではないのか伺う。</p> <p>② 学校における感染対策の物的支援等について</p> <p>ア 集団で検温できる赤外線サーモグラフィカメラを各学校に設置すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>イ 教室における3密解消策について見解を伺う。</p> <p>2. 今後のオンライン教育について</p> <p>(1) 教員のICT環境について</p> <p>① 教員が使用する端末には、児童生徒の個人情報が入っているのか伺う。</p> <p>② 休校期間中、小中学校に勤務する教職員も3密防止のため、交代で在宅勤務（テレワーク）を行っていたが、教員が使用する端末は自宅のネットワークに接続できるのか伺う。</p> <p>③ 今後も新型コロナウイルスの第2波・第3波（緊急時）に備えて、教員が在宅勤務や会議、児童生徒への連絡をオンラインでできるクラウド等の活用を行い、ICT環境整備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 市内児童生徒の家庭のICT環境について</p> <p>① オンライン授業に必要なインターネット容量</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	--------------	--	-------------------

<p>(続)</p>	<p>5</p>	<p>佐藤 剛太</p>	<p>(GB) について</p> <p>ア 小学生が必要とされる容量について伺う。</p> <p>イ 中学生が必要とされる容量について伺う。</p> <p>② 市内児童生徒の家庭環境における契約インターネット回線種別と契約容量について伺う。</p> <p>ア 光回線で容量が無制限以外の件数と割合を伺う。</p> <p>イ モバイルルーター等の公的貸出希望者の割合を伺う。</p> <p>③ 端末（PC又はタブレット）やインターネット環境がない家庭について</p> <p>ア 今後の必要性について理解を深める機会が必要ではないか伺う。</p> <p>イ 希望者には、端末（PC又はタブレット）やモバイルルーターの公的貸出を行うべきだと思うが、見解を伺う。</p> <p>ウ 特に小学生低学年の家庭でのインターネット接続やアプリ操作などの普及はどのように行うのか伺う。</p> <p>④ 今後の取組について</p> <p>ア 教員と児童生徒との双方向通信の練習や今後のオンライン授業の円滑な活用のために、本市にもオンラインHR（ホームルーム）を導入すべきではないか伺う。</p> <p>イ 本市はICT教育先進地として力を入れているが、今後も新型コロナウイルスの第2波・第3波（緊急時）に備えて、オンライン学習やGIGAスクール構想を推進した先進的な取組を行うべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>3. 児童館や放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 教育委員会、小学校、子ども福祉課及び児童館との連携について</p> <p>① 情報共有はどのように行っているか伺う。</p> <p>② 児童館や放課後児童クラブにおける感染防止への取組を伺う。</p> <p>③ 放課後児童支援員の確保は十分にできているのか伺う。</p> <p>④ 市内児童館や放課後児童クラブ関係者から感染者が出た場合の対応について伺う。</p> <p>4. 児童生徒の心のケアについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの影響で3か月間にわたる</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	--------------	---	-------------------

(続)	5	佐藤 剛太	<p>学校の休止で将来や学校生活に対する不安を感じている児童生徒もいます。そこで、学校再開後の現況と今後の取組を伺う。</p> <p>① 小学生についての現況と今後の取組について伺う。</p> <p>② 中学生についての現況と今後の取組について伺う。</p>	市長 教育長
11	15	長田 忠広	<p><b><u>防災・減災の取組について</u></b></p> <p>1. 感染症に対応した避難対応について</p> <p>(1) 感染症に対応した避難所運営マニュアルの作成状況を伺う。</p> <p>(2) ホテル等の宿泊施設と災害協定を締結してはどうか伺う。</p> <p>(3) 感染症に備えた備蓄品の配備状況について伺う。</p> <p>① 指定避難所について</p> <p>② 福祉避難所について</p> <p>(4) 地域住民・防災士と協働して指定避難所の避難所運営訓練を行ってはどうか伺う。</p> <p>2. 地域防災力向上について</p> <p>(1) 地域防災力についての見解を伺う。</p> <p>(2) 防災士との連携をどのように考えているか伺う。</p> <p>(3) モデル地区を決め、地区防災計画を策定してはどうか伺う。</p> <p>3. マイ・タイムラインについて</p> <p>(1) 個人、家族単位の避難計画（マイ・タイムライン）策定についての見解を伺う。</p> <p>(2) 市民が作成するためのツールとして、「マイ・タイムライン作成様式」を全戸配布するとともに、市のホームページに掲載してはどうか伺う。</p>	市長
			<p><b><u>高齢者支援について</u></b></p> <p>1. 地域福祉の人材確保について</p> <p>(1) 岩沼市の人材確保の現状を伺う。</p> <p>(2) 民生委員協力員制度の創設について、平成30年第7回定例会、令和元年第3回定例会で質問してきた。そこで、どのように検討してきたのか伺う。</p> <p>(3) 地域福祉の担い手となる人材の育成のため、受講料を補助する「岩沼市介護職員初任者養成研修講座」を開催してはどうか伺う。</p>	市長

(続)	1 5	長 田 忠 広	<p>2. ゴミ出し支援について</p> <p>(1) 地域で支える仕組みづくりの現状を伺う。</p> <p>(2) 高齢者や障害者世帯を対象に登録制度を設けて、戸別収集をしてはどうか伺う。</p> <p>3. フレイル（心と体の働きが弱くなってきた状態）予防について</p> <p>(1) フレイル予防には3つのポイント（栄養・身体活動・社会参加）がある。これら3つのポイントを踏まえた、これまでの取組と成果について伺う。</p> <p>(2) 団塊の世代が後期高齢者に達する2025年に向けて、3つのポイント（栄養・身体活動・社会参加）について、それぞれどのように取り組んでいくか伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外出自粛が求められてきた。そこで、改めて高齢者の社会参加を促すため、地方創生臨時交付金を活用し、タクシー券を配布してはどうか伺う。</p>	市 長
1 2	1 1	須 藤 功	<p><u>駅西口改札口無人化について</u></p> <p>1. 無人化になった経緯について</p> <p>(1) これまでの委託内容はどのようになっていたのか。</p> <p>(2) 無人化した経緯は、市が提案したのか。J R 東日本側からの提案か。</p> <p>(3) 4月からの委託内容はどうなっているのか</p> <p>2. 無人化開始時期（4月）の市民対応について</p> <p>(1) 現地説明者に市のOBしかいなかった。J R 社員もいた。現職員はいなかった。なぜか。</p> <p>(2) どのような苦情があったのか。</p> <p>3. 利便性について</p> <p>(1) 切符が買えず入場できない。S u i c a でしか入場できない。東口に回るしかない、この現状をどう思うか。</p> <p>(2) 千円札しか使用できず、小銭もその他の紙幣も使用不可能だ。この現状をどう思うか。</p> <p>4. 今後について</p> <p>(1) 使用不可の発券機スペースに、新たな発券機を置くことは不可能と思うが、両替機を設置してはどうか。</p>	市 長
			<p><u>電話交換の廃止について</u></p> <p>1. ダイヤルインに向けて</p> <p>(1) 電話交換手に関する経費は、年間いくらか。</p>	市 長

(続)	1 1	須藤 功	<p>(2) 市庁舎内への電話はつながりにくい。回線数は何回線で年間の電話代はいくらか。</p> <p>(3) 県内 14 市のうち、9 自治体がダイヤルインであるが、この実態をどう考えるか。</p> <p>(4) 電話交換手を廃止し、ダイヤルインにしてはどうか。</p>	市長
1 3	1	大村 晃一	<p><b>新型コロナウイルス関連の市独自支援策について</b></p> <p>1. 法人・個人事業者の支援策について</p> <p>(1) 令和 2 年度一般会計補正予算に盛り込まれ、きめ細やかな市独自支援策として行われた事業継続応援給付金申請について</p> <p>① 申請書の申請様式が申請受付開始日からわずか 1 日で変更になった経緯について伺う。</p> <p>② 初日の申請様式と 2 日目以降の申請様式の 2 パターンの申請様式が存在してしまい、申請のタイミングで申請様式が異なる形となったが、トラブルなどはなかったのか伺う。</p> <p>③ 今後、同様の支援策などを行う場合、水道料金などの引き落とし口座がある法人や事業者は、申請の簡素化のために特別定額給付金の申請と同様、振込先口座の必要書類提出を無くすこともできるようにしてはどうか伺う。</p> <p>(2) 事業継続応援給付金の現時点の申請状況について</p> <p>① 申請があった応援給付金、家賃加算、協力金非該当加算それぞれの件数と合計件数を伺う。</p> <p>② 申請件数に対して支給する応援給付金、家賃加算、協力金非該当加算それぞれの合計金額と 3 項目を合わせた合計金額を伺う。</p> <p>(3) 売上減少額が 50%未満になった市内の法人や個人事業者に対しても市独自支援策が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>2. 介護施設などの法人への支援策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染拡大の中で、クラスター（集団感染）が多数発生している場所として全国的にも各地の介護施設が挙げられている。そのような状況の中で、市内にも介護施設などが多く存在していることから、発生源を出さないように感染予防の支援が必要と考えるが、介護施設などの感染予防支援をどのように考えているのか伺う。</p>	市長

(続)	1	大村晃一	<p>(2) 現在どの程度、市内の介護施設などへマスクや消毒液などを含む感染予防のための物資支援を行っているのか伺う。</p> <p>(3) 市内の介護施設などの法人へ対しても集団感染防止対策を後押しするための補助として、市独自支援策を行ってはどうか伺う。</p> <p>(4) 今後の新型コロナウイルスの第2波・第3波に備え定期的な情報交換など、介護施設等と行政との密な連絡連携の強化を図ってはどうか伺う。</p>	市長
			<p><b><u>市民生活における新型コロナウイルスへの感染予防対策について</u></b></p> <p>1. 新型コロナウイルスの感染経路として、ゴミを媒体とした感染のおそれも取りざたされている中で、感染予防対策について伺う。</p> <p>(1) 市内で新型コロナウイルスの感染者が出た場合、ゴミの回収などにも細心の注意を払わなければならないと考えるが、どのような対策を考えているのか伺う。</p> <p>(2) ゴミ回収委託業者へは、ゴミ回収時の感染予防対策としてどのような対策を講じているのか伺う。</p> <p>(3) ゴミ出しに対する新型コロナウイルスの感染予防対策として、市民にどのように周知を行っているのか伺う。</p> <p>(4) 早朝クリーンなどのタイミングを活用して、市民にゴミ出し時の新型コロナウイルスの感染予防対策の周知を行ってはどうか伺う。</p> <p>2. 岩沼市民バス（スクールバス）の感染予防対策について</p> <p>(1) 岩沼市民バスは、小学生などの通学時をはじめ、不特定多数の市民が利用することから、感染予防対策が必要と考えるが、どのような対策を行っているのか伺う。</p> <p>(2) 今後、市内で新型コロナウイルスの感染者が出た場合の運行は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) バス車内に手指消毒液の設置を行い、利用者が乗車時や下車時に消毒を行う感染予防対策を行ってはどうか伺う。</p> <p>(4) 二人掛けシートなど一部の座席の使用を禁止する、感染予防対策を行ってはどうか伺う。</p>	市長